13

書く

確認

# 作文を書く（作文の基礎）

名前

## やってみよう

◆次は、「心に残った出来事」という題名の作文を書くために、花子さんが書いたメモと、それを基に書いた作文の書き出しの部分です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

《メモ》
・いつ……中学一年生の春、祖母と近所に散歩に行ったとき
・どこで……近所を流れる小川沿いの道で
・出来事……何気なくゴミを拾ったら、近所の田中さんに感謝された。
・どう思ったか……○祖母と田中さんの言葉から、思い出の小川を大切に思う町の人の気持ちに気付いた。
○思い出の場所があって、大切な場所を守りたいという気持ちをもっている人たちに接して温かい気持ちになった。
○自分の住む町を大切にしていきたい。

《作文》
中学生になったばかりの春のことである。天気のよい日曜日の午後、私は祖母と一緒に近所に散歩に出かけた。家の近くを流れている小川沿いの道にさしかかったとき、祖母が言った。
「昔はここにメダカがたくさん泳いでいて、水もきれいだった。この小川は大切な遊び場だったんだよ。」
小川に目を向けると、水はにごっていて、とてもメダカが泳いでいるようには見えなかった。
私たちは、小川沿いに散歩を続けた。その途中、私は捨てられている空き缶が気になって、何気なくそれを拾った。
「ありがとう。大切な思い出の小川だから、私も気になっていたの。」
ふいに言葉を掛けられて振り返ると、近所に住む田中さんが笑顔で立っていた。自分としては何気なくやったことだったので、感謝されて驚いてしまった。

A

問　Aには、田中さんに声をかけられた後、花子さんが思ったことをまとめた文章が入ります。原稿用紙の正しい使い方に従い、メモの内容を参考にして、その部分の文章を百六十字以上、二百字以内で書きなさい。

200字　160字　100字